

1 八幡ジャンクション工事

新名神高速道路と第二京阪道路とが接続する八幡ジャンクション工事では、盛土造成や橋梁工事を行っています。橋梁については、全11橋のうち10橋において橋脚、橋台の施工と桁

架設が完了し、現在壁高欄や付属物の施工をしています。残る1橋については橋脚、橋台全6基のうち、2基が完成しています。土工事も大型重機を用いて盛土造成を進めています。



2 京田辺高架橋工事

木津川橋から八幡ジャンクション(仮称)へとつながる京田辺高架橋(全長約1590m)を建設しています。橋台、橋脚は全105基が完成し、上部工事及び高架下整備を行っています。

上部工は、上り線は全ての桁架設を完了し、下り線については西側で大型移動支保工によるコンクリート桁の架設を完了し、壁高欄の施工も順次進めています。



3 木津川橋工事

木津川を渡る木津川橋の建設をしています。河川内の工事は毎年、非出水期となる10月中旬から翌6月中旬の間で実施しており、現在第四期目の河川内工事を行っています。

橋脚については、全16基が完成しています。上部工も順次架設を行っており、左岸側は3径間、右岸側は5径間の架設が完了しています。



4 城陽ジャンクション工事

新名神高速道路と京奈道路とが接続する城陽ジャンクション工事では、盛土造成や橋梁工事を行っています。橋梁工事は、木津川側からコンクリート桁を、京奈道路周辺では鋼桁の施工

を行い、全ての桁架設が完了しています。現在は、壁高欄や鋼橋の床板工事を行っています。土工事は、八幡ジャンクションからの掘削土を運搬して盛土造成を行っています。



5 岩山工事 ★H35年度開通区間

平成35年度開通区間の新名神高速道路(大津～城陽間)のうち、本工事は京都府域において最初の工事となります。延長約64mのボックスカルバートをはじめ、後続の工事でも使用する仮設構造物(工事用道路約760m

及び工事用仮橋約220m)を構築します。現在、工事用道路の施工に着手しました。関係機関及び、地域の皆様のご協力を頂きながら、安全第一で工事を進めてまいります。



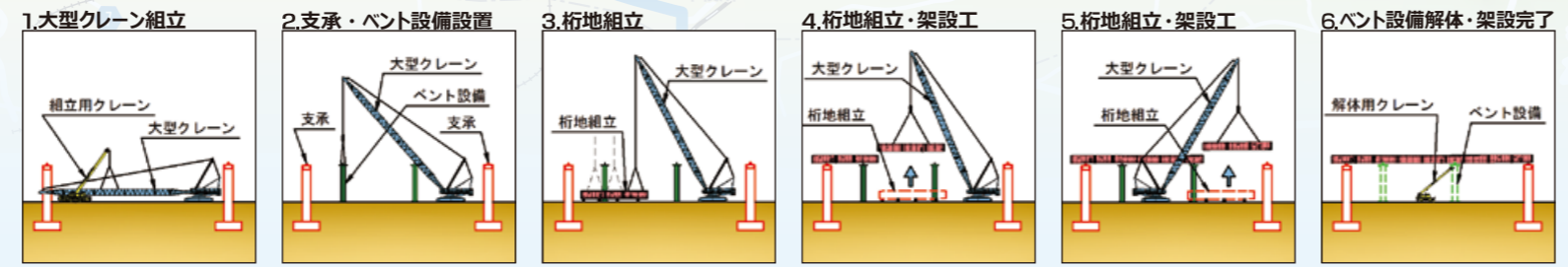
新名神京都事務所担当区間 京都府域 17.7 Km

- 城陽 JCT・IC (仮称) ~ 八幡 JCT・IC (仮称) (平成28年度完成目標)
- 大津 JCT ~ 城陽 JCT・IC (仮称) (仮称)
- 八幡 JCT・IC (仮称) ~ 高槻第一 JCT (仮称) (平成35年度完成目標)

『高速道路ができるまで...木津川橋上部工編』

木津川橋は一級河川淀川水系木津川(川幅約600m)を横越する全長755mの鋼製の橋梁です。橋梁形式は11径間連続の鋼桁と箱桁の混合桁で、橋脚支点付近にねじり剛性に対応するため箱桁を採用しています。河川区域内での工事は、環境への影響や工程を考慮し、河川の流れの切替えを行いながら施工する「瀬替え工法」による工事で、台風や雨量が多い時期を避けた非出水期(10月中旬～翌6月中旬)に行っています。現在は第4期目として、大型クレーンによる桁架設を行うとともに、架設が完了した箇所から床版の工事などを行っています。

『上部工』施工ステップ図



※本誌における新名神のJCT(ジャンクション)IC(インターチェンジ)構造物の名称はすべて仮称です。